



2007.2.
 プレス民主編集部
 東京都千代田区永田町1-11-1
 電話 03-3595-9988(代表)

号外

松戸市・流山市・野田市版



衆議院議員

太田かずみ



連絡先【民主党千葉県第7総支部】〒271-0047 松戸市西馬橋幸町36 大栄ビル2F 電話 047-346-1313 FAX 047-346-2313

包装材の削減へ、レジ袋有料化の取組み

6年前、日本人のレジ袋使用量は、国民一人当たり1年間で約300枚というデータがあります。現在の使用量はさらに増えているはずですし、環境のことを考えると、このままで良いはずがありません。

マイバッグを持参し、レジ袋は辞退するという「エコ派」の消費者も増えてきました。一部のお店ではレジ袋を有料にする取組みも始まっていますが、さらにこれが大きく広がる勢いです。というのも、4月から改正容器包装リサイクル法(容リ法)が施行されます。これによって、スーパーやコンビニ、デパートなど、包装材の使用量が多い小売店は、削減目標を立て実績を国に報告、国は取組みが不十分な業者に勧告や命令を出し、従わない場合は企業名の公表や50万円以下の罰金を課すことができるようになります。

調査では7割強が賛成

経済産業省の政省令では、削減目標を立て実績を国に報告する「容器包装多量利用事業者」は年間使用量が50トン以上で、約750社が対象になります。そして、包装材の削減のため、「容器包装を有償で提供すること」「(マイバッグ持参の客に)景品等を提供すること」などの手段を例示して、取組みを進めることを求めています。

レジ袋の有料化には、ある調査では7割強の人が賛成し、袋の値段については「5円」と

答えた人が最も多いそうです。東京都杉並区で行った有料化実験では、7割の客が買い物袋を持参しました。やはり、有料化はレジ袋削減の切り札になるようです。私も先日、あるクリーニングのチェーン店に洋服を取りに行ったら、レジ袋は有料といわれたので、そのままでもって帰りました。

「ゴミ・ゼロ社会」をめざして

今、地球温暖化防止の観点からも、子どもたちの未来のためにも、天然資源の浪費を抑制し、環境への負担を低減させる「循環型社会」が求められています。

このためには①リデュース(ゴミの発生抑制)②リユース(再使用)③リサイクルが、この順番で重要であると、法律にも定められています。レジ袋の有料化はリデュースの取り組みのひとつです。

包装材はレジ袋だけではなく、ラップ、トレー、包装紙や輸送時の梱包材などを含めた梱包材全体のリデュースに取り組んでいくきっかけにしていかなければなりません。

欧州ではペットボトルを洗って30回もリユースする国がありますし、ペットよりビンが多い国もあります。「見栄え」や「便利さ」にこだわる消費者一人ひとりの意識改革が求められています。改正容器リサイクル法の着実な実施と取り組みのさらなる強化を求め、「ゴミ・ゼロ社会」をめざしてまいります。